研修機関情報

●法人格・法人名称・住所等

株式会社日本教育クリエイト

東京都新宿区西新宿 1-23-7　新宿ファーストウエスト 7F

●代表者氏名、研修事業代表取締役名

代表取締役　鳥居　敏

●事業所名称・住所等

株式会社日本教育クリエイト　金沢県庁前教室

石川県金沢市二ツ屋町 8-1　アーバンユースフルビル 2F

●理念

【経営理念】技能教育と技能を生かす場を提供することにより、人と社会に貢献する。

【教育理念】技能と心の調和

●学則　学則参照

●研修施設、設備　　別紙様式６研修実施会場状況表参照

研修事業情報

●対象・定員　　学則参照

●研修のスケジュール　　別紙様式３研修日程表参照

●研修受講までの流れ・費用　　学則参照

●留意事項・特徴・受講者へのメッセージ等

三幸福祉カレッジ介護職員初任者研修においては講義演習一体型の実践に役立つ講義を行ないます。

介護をしっかり学びたい皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

●課程編成責任者名　課長　福間　真理子

●科目別シラバス・科目別特徴　　別紙様式２カリキュラム＜講義と演習＞参照

●科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間　　別紙様式３研修日程表参照

●通信課題の教材・指導体制・指導方法・課題　　学則参照　　添削指導実施要領参照
介護職員初任者研修課題集

●科目別担当教官名　　別紙講師情報参照

●修了評価の方法・評価者・再履修等の基準　　学則参照

講師情報

●名前・略歴・現職・資格　　別紙講師情報参照

実績情報

●過去の研修実施回数（全課程通信含む）

平成 22 年度 2 回　平成 23 年度 4 回　平成 24 年度 5 回　平成 25 年度 4 回

平成 26 年度 1 回　平成 27 年度 2 回　平成 28 年度 11 回　平成 29 年度 8 回

平成 30 年度 9 回　平成 31（令和元）年度 10 回　令和 2 年度 14 回

令和 3 年度 17 回　令和 4 年度 19 回　令和 5 年度 19 回　　令和 6 年度 18 回

●過去の研修延べ参加人数

平成 22 年度 54 人　　平成 23 年度 62 人　平成 24 年度 72 人　平成 25 年度 36 人

平成 26 年度 19 人　　平成 27 年度 19 人　　平成 28 年度 69 人　平成 29 年度 79 人

平成 30 年度 100 人　平成 31（令和元）年度 101 人　令和 2 年度 127 人

令和 3 年度 109 人　令和 4 年度 120 人　　令和 5 年度 92 人　　令和 6 年度 243 人

●申込み・資料請求先

株式会社日本教育クリエイト　金沢県庁前教室

石川県金沢市二ツ屋町 8-1　アーバンユースフルビル 2Ｆ

TEL:076-255-2231　FAX:076-255-2714

●法人の苦情対応者名・役職・連絡先

部長　福間　真理子　052-589-9323

●事業所の苦情対応者名・役職・連絡先

主任　堀田　忍　076-255-2231

学　　則

ア　開講目的

　高齢者の増大かつ多様化するニーズに対応した適切な介護サービスを提供するため、必要な知識、技術を有する介護職員の養成を図ることを目的とする。

イ　研修事業の名称

　三幸福祉カレッジ　介護職員初任者研修

ウ　実施場所等

　三幸福祉カレッジ　金沢県庁前教室

　（所在地：石川県金沢市二ツ屋町８－１　アーバンユースフルビル2F）

エ　研修期間

　講習開始日～8か月を研修期間とする。

エ　研修カリキュラム及び使用する教材

　（1）研修カリキュラム（別紙様式3のとおり）

　（2）使用する教材

　　2訂　介護職員　初任者研修テキスト　　発行：一般財団法人　長寿社会開発センター

カ　講師氏名及び職名

　（別紙様式4のとおり）

キ　実習施設

　実習は行わないため、添付無し

ク 研修修了の認定方法及び免除科目

(1)修了の認定

講　義	演　習	修 了 試 験
全3回の課題を全て提出。 各回100点満点中70点以上で合格。70点を下回る場合はその都度再提出とする。	全92．5時間の日程にすべて出席。 欠席した場合は他の教室で振替出席とする。 また、科目番号9においては授業時に担当講師による生活支援技術の習得状況の評価を行う。 評価は下記の通りとし、C以上で評価基準を満たしたものとする。 A＝理論を理解し、一人でしっかりできている(90点以上) B＝一人でしっかりできている(80～89点) C＝ほぼできている(70～79点) D＝要再指導(70点未満)	全22問の修了試験を行い、下記評価に基づき修了認定を行う。C以上で評価基準を満たしたものと認定する。 A＝90点以上、B＝80～89点、C＝70～79点、D＝70点未満

(2)免除科目

なし

ケ 募集時期

案内は募集開始日以降

コ 受講資格

介護サービス事業に従事することを希望する者、従事することが確定している者、 または既に従事している者とする。

講義、演習に継続して出席できる、心身ともに健康な方。

サ 受講定員

1クラス 20名

シ 受講手続き

1、電話・ホームページ・郵送等にて申込

2、申込者に対し教材及び受講料納入の案内を送付

万が一受講が困難となった場合、教材到着日から8日以内であればクーリングオフができる。その際、必ず教材の返却がある事。

3、受講証を発行し、これをもって受講手続きを完了とする。

ス 授業料、実習費など受講者が負担すべき費用

（1）授業料（受講生一人当たり）

45,000円(税別) テキスト代含む

セ 研修欠席者に対する補講の方法、上限時間及び補講に係る費用等の取扱い

講義	演習
提出課題が基準点を下回る場合は再度提出とする。 （再提出に関する費用 は無料とする。）	やむを得ず欠席した場合は、他の教室、クラスにて振替出席とする。もしくは、特別クラスを別日設定する。（振替授業の費用は、無料とする。）

ソ 研修の延期・中止などの不慮の事態における養成研修の継続及び苦情などに対する対応

（1）延期の場合

研修が延期となった場合は、希望者には他クラスへのクラス変更を行う。

⑵中止の場合

研修の中止で運営再開の見通しがない場合は、早急に同等の養成施設での受講を手配するか、もしくは、受講料を全額返金することとする。

⑶苦情などに対する対応

電話、ファックス、郵送、または三幸福祉カレッジ事務所での苦情対応を行う。受付先は下記とする。

三幸福祉カレッジ 金沢県庁前教室

石川県金沢市二ツ屋町８－１ アーバンユースフルビル2F

TEL:076-255-2231 FAX:076-255-2714

タ 個人情報の取り扱いについて

受講生の個人情報に関しては講座の運営・案内のみの目的で使用し、その他の目的には使用しない。

チ 研修修了者名簿が知事に提出され、管理される旨の記載

研修修了者について、修了証書番号、修了年月日、氏名、生年月日、年齢、居住地等、必要事項を記載した「研修修了者名簿」を作成し、管理する。

また、作成した名簿については、石川県知事に送付され管理される。

ツ 本人確認について

初回講義時において、本人確認を行う。本人確認については、下記のいずれかの方法とする。

- 戸籍謄本、戸籍抄本若しくは住民票の提出
- 住民基本台帳カードの提示

・　在留カード等の提示
・　資格確認書の提示
・　運転免許証の提示
・　パスポートの提示
・　年金手帳の提示
・　国家資格を有する者については、免許証又は登録証の提示
・　マイナンバーカードの提示

テ　通信添削

通信課題提出日（別添日程表のとおり）までに通信が終了しない場合は、別クラスに振替することとする。

ト　受講の取消し

次の各号の一に該当する者は、受講を取消すことができる。

（１）意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者
（２）学習研修の秩序を乱し、その他の受講生としての本分に反した者
（３）当校の定める受講料支払規定に反する者
（４）当研修をとおして介護者としての資質に著しく欠ける者
（５）その他講師の指示・当校の規定に反し、改善を求めても改めない者

（別紙様式２）

カリキュラム＜講義と演習＞

科目の細目	講義と演習の実施方法
１．職務の理解（６時間）	
多様なサービスの理解 （３時間）	介護保険サービス・介護保険外サービスについて表やフローチャートを活用し理解してもらう。
介護職の仕事内容や働く現場の理解 （３時間）	居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容について具体的イメージを持って実感してもらうよう視覚教材や体験談を活用し理解してもらう。ケアプランの位置づけに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れや連携の重要さをグループディスカッションを用いて理解を深める。
２．介護における尊厳の保持・自立支援（９時間）	
人権と尊厳を支える介護 （６時間）	介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職である事を自覚してもらう為、具体的事例を出しグループディスカッションにて考えてもらう。
自立に向けた介護 （３時間）	自立支援、介護予防という考え方に基づいたケアを理解してもらう為、具体的事例を基に利用者の残存機能を効果的に活用しながら自立支援や重度化防止・遅延化に資するケアへの理解を促す。
３．介護の基本（６時間）	
介護職の役割、専門性と多職種との連携 （１．５時間）	訪問介護と施設サービスの違い、地域包括ケアの方向性・介護の専門性・介護に関わる職種との連携の重要性、役割分担等理解してもらうよう可能な限り具体例を出して進めていく。
介護職の職業倫理 （１時間）	介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づいてもらうよう具体例を活用していく。
介護における安全の確保と リスクマネジメント （２時間）	職務におけるリスクとその対応策・緊急対応の重要性を理解してもらうとともに、場合によってはサービス提供責任者や医療職との連携が大事である事を理解してもらう。

科目の細目	講義と演習の実施方法
３．介護の基本（６時間）	
介護職の安全 （１．５時間）	介護職の心身の健康管理が介護の質に影響する事やストレスマネジメント・腰痛の予防・手洗い・うがいの励行・感染症対策について体も動かしたりしながら理解してもらう。
４．介護・福祉サービスの理解と医療との連携（９時間）	
介護保険制度 （４時間）	介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービスの流れについて視覚教材等を活用し理解してもらう。
医療との連携とリハビリテーション （３時間）	医療行為と介護（医行為と非医行為の範囲）・訪問看護・施設における看護と介護の役割・連携、リハビリテーションの理念について事例を活用し理解してもらう。
障害者自立支援制度およびその他制度 （２時間）	障害者自立支援制度の理念・障害の概念・ＩＣＦの理解・高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方を理解してもらう。
５．介護におけるコミュニケーション技術（６時間）	
介護におけるコミュニケーション （３時間）	共感・受容・傾聴的態度・言語的、非言語的コミュニケーション・利用者の思いの把握・家族の心理的理解・障害に応じたコミュニケーション技術等、ロールプレイングを用い理解してもらう。
介護におけるチームのコミュニケーション （３時間）	介護における相談援助技術の重要性・記録における情報の共有化、目的、種類等、事例を用い理解してもらう。
６．老化の理解（６時間）	
老化に伴うこころとからだの変化と日常 （３時間）	加齢・老化に伴う心身の変化の特徴について、防衛反応（反射）の変化や身体的機能の変化と日常生活への影響や機能低下等、事例や視覚教材を用い理解してもらう。

科目の細目	講義と演習の実施方法
６．老化の理解（６時間）	
高齢者と健康 （３時間）	高齢者の疾病と生活上の留意点 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点等、事例や視覚教材を用い理解してもらう。
７．認知症の理解（６時間）	
認知症を取り巻く状況 （１時間）	認知症の利用者の心理、行動を理解しもらうよう具体例を複数示し理解してもらう。
医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 （１時間）	認知症の概念・原因疾患とその病態・もの忘れとの違い・認知症に使用される薬について、実例を示し理解してもらう。
認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 （３時間）	認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴・不適切なケア・生活環境で改善される事等具体例やグループディスカッションを用い理解してもらう。
家族への支援 （１時間）	認知症の受容過程での援助・介護負担の軽減について具体例を用い理解してもらう。
８．障害の理解（３時間）	
障害の基礎的理解 （０．５時間）	介護において障害の概念とＩＣＦの理解の必要性・障害者福祉の基本理念を表やフローチャートを用い理解してもらう。
障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 （１時間）	それぞれの障害の特性と介護上の留意点について事例を用い理解してもらう。
家族の心理、かかわり支援の理解 （１．５時間）	障害の受容支援・介護負担の軽減について具体例やグループディスカッションを用い理解してもらう。

科目の細目	講義と演習の実施方法
９．こころとからだのしくみと生活支援技術（７５時間）	
介護の基本的な考え方 （４時間）	論理に基づく介護、生活支援・我流介護の排除・根拠に基づく介護について表やフローチャートを用い理解してもらう。
介護に関するこころのしくみの基礎的理解 （４．５時間）	介護実践に必要なこころのしくみの基礎的な知識をつけてもらうよう、感情と意欲の基礎知識・自己概念と生きがい・こころの持ち方が行動に与える影響・からだの状態がこころに与える影響等、グループディスカッションを用い理解してもらう。
介護に関するからだのしくみの基礎的理解 （４．５時間）	介護実践に必要なからだのしくみの基礎的な知識をつけてもらうよう視覚教材や模型等を用い理解してもらう。また、人体の各部の名称と動きに関する基礎知識・骨、関節、筋に関する基礎知識、ボディメカニクス等、視覚教材や実際に体験し理解してもらう。
生活と家事 （１時間）	家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識について、視覚教材等を使用し理解してもらう。
快適な居住環境整備と介護 （１時間）	快適な居住環境に関する基礎知識・高齢者、障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点を視覚教材や事例をもとに理解してもらう。
整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 （６時間）	身体の状態に合わせた衣服の選択、着脱・身じたく・整容行動・洗面の意義、効果について視覚教材等を使用し説明すると共に実際に体験し合い理解してもらう。
移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 （１０．５時間）	様々な移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介護者にとって負担の少ない移動・移乗・ボディメカニクスの基本原理・移乗介助の具体的な方法等視覚教材等を使用し説明すると共に実際に体験し合い理解してもらう。

科目の細目	講義と演習の実施方法
９．こころとからだのしくみと生活支援技術（７５時間）	
食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 （６時間）	食事に関する基礎知識・食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ・食事をする意味・食事と姿勢・嚥下のメカニズム・口腔ケアの定義・誤嚥性肺炎の予防等視覚教材等を使用し説明すると共に実際に体験し合い理解してもらう。
入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 （７時間）	入浴、清潔保持に関する基礎知識・さまざまな入浴用具と整容用具の活用法・体調の確認・羞恥心や遠慮への配慮・全身清拭・目、鼻、耳、爪の清潔方法・陰部洗浄・洗髪等視覚教材等を使用し説明すると共に実際に体験し合い理解してもらう。
排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 （９．５時間）	排泄に関する基礎知識・さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法・プライバシーの確保・食事内容の工夫・おむつ使用の弊害等視覚教材等を使用し説明すると共に実際に体験し合い理解してもらう。
睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 （６時間）	睡眠関する基礎知識・さまざまな睡眠環境と用具の活用方法･安眠のための介護の工夫･環境の整備（温度や湿度等）安楽な姿勢・褥瘡予防等視覚教材等を使用し説明すると共に実際に体験し合い理解してもらう。
死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 （３時間）	終末期に関する基礎知識とこころとからだのしくみ生から死への過程・死に向き合うこころの理解・苦痛の少ない死への支援について視覚教材や体験談を用い理解してもらう。
介護過程の基礎的理解 （６時間）	介護過程の目的・意義・展開 介護過程とチームのアプローチについてロールプレイング・グループディスカッション・体験・を基に理解してもらう。
総合生活支援技術演習 （６時間）	生活の各場面での介護についてある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供できるよう実際に体験し合い習得してもらう。

１０．振り返り（４時間）	
振り返り （３．５時間）	研修全体を振り返り、身だしなみや言葉使いから各科目について模擬演習を用い再確認をする。
就業への備えと研修修了後における継続的な研修 （０．５時間）	最新知識の付与と職場環境へ早期適応・継続できるよう視聴覚教材の活用や体験談を基に習得してもらう。
合計	１３０時間

修了評価 （１時間）	全科目修了後に１時間程度の筆記試験により実施

※「講義と演習の実施方法」は文章で具体的に記載すること。単語のみの羅列は不可。

知識及び技術の修得の確認方法

講　義	演　習	修 了 試 験
全3回の課題を全て提出。 基準点を下回る場合はその都度再提出とする。	全92.5時間の日程にすべて出席。欠席した場合は他の教室で振替出席とする。 また、科目番号9においては授業時に担当講師による生活支援技術の習得状況の評価を行う。 評価は下記の通りとし、C以上で評価基準を満たしたものとする。 A＝理論を理解し、一人でしっかりできている（90点以上） B＝一人でしっかりできている（80～89点） C＝ほぼできている（70～79点） D＝要再指導（70点未満）	全22問の修了試験を行い、下記評価に基づき修了認定を行う。C以上で評価基準を満たしたものと認定する。 A＝90点以上、B＝80～89点、C＝70～79点、D＝70点未満

通信添削指導実施要領

介護従事者として必要な社会福祉の制度、医学知識、介護方法、利用者の理解など幅広い基礎知識を身に付けるための大切な学習カリキュラムです。テキストより学んだことを確認し、各段階の課題に取り組んでいきましょう。

≪通信添削課題(自宅学習)について≫

通信添削課題には、選択式問題・記述式問題・論述式問題（字数指定）３つの課題があります。それぞれの下記をご確認の上、ご提出ください。

提出物	通信添削課題集に問題が第１回～第３回まであります。付属の解答用紙に記入の上、5 日目までにご提出下さい。 ※字数が制限されている記述式・論述式課題の問題が計 8 問あります。付属の記述式・論述式問題用解答用紙に記入の上、5 日目までにご提出ください。
提出期限	スクーリング 5 日目まで ※再提出の締切はスクーリング 11 日目となります。
合格基準	70 点　※70 点未満は再提出
返却	採点後、授業内でご返却します。
注意事項	全３回の通信添削課題を提出し、すべての課題において基準点を満たした場合、通信添削課題を終了したこととします。 ※修了試験前に通信添削課題を終了すること。できなければ、修了試験を受けられなくなるので注意してください。

≪問題に関するご質問について≫

ファックス・郵送にて問題に関するご質問を受付します。質問用紙に必要事項を記入の上、三幸福祉カレッジ事務局までお送り下さい。なお、こちらの返答に関しましてはファックス又は郵送でご返信させて頂きます。質問用紙提出からご回答まで約２週間かかります。

質問用紙

氏名		受講 No.	
		FAX	
会場: 教室 月生 クラス			

課題集 に関する質問
質問
解答・解説
三幸福祉カレッジ FAX：076-255-2714 〒920-0065　石川県金沢市二ツ屋町 8-1　アーバンユースフルビル 2F 三幸福祉カレッジ　質問係

※コピーして、ご使用下さい。

【別紙様式3】

研修日程表【金沢県庁前教室　9月生Qクラス】

研修実施会場:三幸福祉カレッジ　金沢県庁前教室

通信最終締切日:令和8年9月29日

科目名		実施日	提出期限	時間数(通学)	時間数(通信)
1. 職務の理解	介護職の仕事内容や働く現場の理解	9月14日(月)		3	
	多様なサービスの理解			3	
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護	9月15日(火)		1.5	4.5
	自立に向けた介護				3
3. 介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携			1.5	
	介護職の職業論理				1
	介護における安全の確保とリスクマネジメント				2
	介護職の安全			1.5	
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	医療との連携とリハビリテーション				3
	介護保険制度			1.5	2.5
	障害者総合支援制度およびその他制度				2
6. 老化の理解	老化に伴うこころとからだの変化と日常	9月17日(木)		3	
	高齢者と健康				3
7. 認知症の理解	認知症を取り巻く状況				1
	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理				1
	家族への支援				1
	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		9月29日(火)	3	
5. 介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション	9月28日(月)		3	
	介護におけるチームのコミュニケーション				3
8. 障害の理解	障害の基礎的理解				0.5
	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識				1
	家族の心理、かかわり支援の理解			1.5	
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方			1	3
	介護に関するこころのしくみの基礎的理解			1.5	3
	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	9月29日(火)		1.5	3
	生活と家事			1	
	快適な居住環境整備と介護			1	
	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			3	
	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	10月1日(木)		3	
	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			3.5	
	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	10月5日(月)		7	
	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	10月6日(火)		6	
	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	10月8日(木)		6	
	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	10月12日(月)		6.5	
	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	10月13日(火)		3	
	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護			3	
	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	10月15日(木)		7	
	介護過程の基礎的理解	10月19日(月)		6	
	総合生活支援技術演習	10月20日(火)		6	
10. 振り返り	振り返り	10月22日(木)		3.5	
	就業への備えと研修終了後における継続的な研修			0.5	
修了評価	修了試験			1	

【別紙様式3】

研修日程表【金沢県庁前教室　10月生Aクラス】

研修実施会場:三幸福祉カレッジ　金沢県庁前教室

通信最終締切日:令和8年11月15日

科目名		実施日	提出期限	時間数(通学)	時間数(通信)
1. 職務の理解	介護職の仕事内容や働く現場の理解	10月18日(日)		3	
	多様なサービスの理解			3	
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護	10月25日(日)		1.5	4.5
	自立に向けた介護				3
3. 介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携			1.5	
	介護職の職業論理				1
	介護における安全の確保とリスクマネジメント				2
	介護職の安全			1.5	
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	医療との連携とリハビリテーション				3
	介護保険制度			1.5	2.5
	障害者総合支援制度およびその他制度				2
6. 老化の理解	老化に伴うこころとからだの変化と日常	11月1日(日)		3	
	高齢者と健康				3
7. 認知症の理解	認知症を取り巻く状況				1
	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理				1
	家族への支援				1
	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活			3	
5. 介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション	11月8日(日)		3	
	介護におけるチームのコミュニケーション				3
8. 障害の理解	障害の基礎的理解				0.5
	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識				1
	家族の心理、かかわり支援の理解			1.5	
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方			1	3
	介護に関するこころのしくみの基礎的理解			1.5	3
	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	11月15日(日)		1.5	3
	生活と家事			1	
	快適な居住環境整備と介護			1	
	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			3	
	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	11月22日(日)		3	
	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			3.5	
	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	11月29日(日)		7	
	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月6日(日)		6	
	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月13日(日)		6	
	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月20日(日)		6.5	
	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月27日(日)		3	
	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護			3	
	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1月10日(日)		7	
	介護過程の基礎的理解	1月17日(日)		6	
	総合生活支援技術演習	1月24日(日)		6	
10. 振り返り	振り返り	1月31日(日)		3.5	
	就業への備えと研修終了後における継続的な研修			0.5	
修了評価	修了試験			1	

【別紙様式3】

研修日程表【金沢県庁前教室　11月生Qクラス】

研修実施会場:三幸福祉カレッジ 金沢県庁前教室

通信最終締切日:令和8年12月1日

科目名		実施日	提出期限	時間数(通学)	時間数(通信)
1. 職務の理解	介護職の仕事内容や働く現場の理解	11月23日(月)		3	
	多様なサービスの理解			3	
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護	11月24日(火)		1.5	4.5
	自立に向けた介護				3
3. 介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携			1.5	
	介護職の職業論理				1
	介護における安全の確保とリスクマネジメント				2
	介護職の安全			1.5	
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	医療との連携とリハビリテーション				3
	介護保険制度			1.5	2.5
	障害者総合支援制度およびその他制度				2
6. 老化の理解	老化に伴うこころとからだの変化と日常	11月26日(木)		3	
	高齢者と健康				3
7. 認知症の理解	認知症を取り巻く状況				1
	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理				1
	家族への支援				1
	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活			3	
5. 介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション	11月30日(月)		3	
	介護におけるチームのコミュニケーション				3
8. 障害の理解	障害の基礎的理解				0.5
	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識				1
	家族の心理、かかわり支援の理解			1.5	
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方			1	3
	介護に関するこころのしくみの基礎的理解			1.5	3
	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	12月1日(火)		1.5	3
	生活と家事			1	
	快適な居住環境整備と介護			1	
	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			3	
	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月3日(木)		3	
	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			3.5	
	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月7日(月)		7	
	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月8日(火)		6	
	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月10日(木)		6	
	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月14日(月)		6.5	
	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月15日(火)		3	
	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護			3	
	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月17日(木)		7	
	介護過程の基礎的理解	12月21日(月)		6	
	総合生活支援技術演習	12月22日(火)		6	
10. 振り返り	振り返り	12月24日(木)		3.5	
	就業への備えと研修終了後における継続的な研修			0.5	
修了評価	修了試験			1	

【別紙様式3】

研修日程表【金沢県庁前教室　1月生Qクラス】

研修実施会場:三幸福祉カレッジ　金沢県庁前教室
通信最終締切日:令和9年2月2日

科目名		実施日	提出期限	時間数(通学)	時間数(通信)
1. 職務の理解	介護職の仕事内容や働く現場の理解	1月25日(月)		3	
	多様なサービスの理解			3	
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護	1月26日(火)		1.5	4.5
	自立に向けた介護				3
3. 介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携			1.5	
	介護職の職業論理				1
	介護における安全の確保とリスクマネジメント				2
	介護職の安全			1.5	
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	医療との連携とリハビリテーション				3
	介護保険制度			1.5	2.5
	障害者総合支援制度およびその他制度				2
6. 老化の理解	老化に伴うこころとからだの変化と日常	1月28日(木)		3	
	高齢者と健康				3
7. 認知症の理解	認知症を取り巻く状況				1
	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理				1
	家族への支援				1
	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活			3	
5. 介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション	2月1日(月)		3	
	介護におけるチームのコミュニケーション				3
8. 障害の理解	障害の基礎的理解				0.5
	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識				1
	家族の心理、かかわり支援の理解			1.5	
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方			1	3
	介護に関するこころのしくみの基礎的理解			1.5	3
	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	2月2日(火)		1.5	3
	生活と家事			1	
	快適な居住環境整備と介護			1	
	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			3	
	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2月4日(木)		3	
	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			3.5	
	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2月8日(月)		7	
	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2月9日(火)		6	
	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2月11日(木)		6	
	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2月15日(月)		6.5	
	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2月16日(火)		3	
	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護			3	
	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2月18日(木)		7	
	介護過程の基礎的理解	2月22日(月)		6	
	総合生活支援技術演習	2月23日(火)		6	
10. 振り返り	振り返り	2月25日(木)		3.5	
	就業への備えと研修終了後における継続的な研修			0.5	
修了評価	修了試験			1	

氏名	穴田　真理子		
現職	名称		開始年月
	日本教育クリエイト　非常勤講師		平成27年8月
資格	資格名	取得年月日	取得機関
	介護福祉士	平成12年4月28日	厚生労働省
	名称	業務内容	期間
	介護施設	介護職	平成8年4月～平成26年1月
氏名	大井　広和		
現職	名称		開始年月
	日本教育クリエイト　非常勤講師		令和2年4月
資格	資格名	取得年月日	取得機関
	介護福祉士	平成28年4月8日	厚生労働省
略歴	名称	業務内容	期間
	介護施設	介護職	平成24年4月～現在
氏名	中山　麻美子		
現職	名称		開始年月
	日本教育クリエイト　非常勤講師		令和2年9月
資格	資格名	取得年月日	取得機関
	介護福祉士	平成14年4月26日	厚生労働省
略歴	名称	業務内容	期間
	介護施設	介護職	平成9年4月～平成15年12月
	介護施設	介護職	平成23年12月～平成24年11月
	介護施設	介護職	平成24年12月～平成29年7月
氏名	佐藤　恵子		
現職	名称		開始年月
	日本教育クリエイト　非常勤講師		令和3年4月
資格	資格名	取得年月日	取得機関
	介護福祉士	平成23年4月15日	厚生労働省
略歴	名称	業務内容	期間
	介護施設	介護職	平成19年11月～平成20年8月
	介護施設	介護職	平成20年9月～平成21年9月
	児童発達支援･放課後等デイサービス	介護職	平成21年10月～平成23年10月
	介護施設	介護職	平成24年6月～現在
氏名	笠間　誠二		
現職	名称		開始年月
	日本教育クリエイト　非常勤講師		平成25年2月
資格	資格名	取得年月日	取得機関
	介護福祉士	平成14年4月19日	厚生労働省
略歴	名称	業務内容	期間
	介護施設	介護職	平成11年4月～現在
氏名	矢田　亨		
現職	名称		開始年月
	日本教育クリエイト　非常勤講師		令和3年2月
資格	資格名	取得年月日	取得機関
	介護福祉士	平成26年4月22日	厚生労働省
略歴	名称	業務内容	期間
	障害者支援施設	介護職	平成23年1月～現在
氏名	三浦　真理		
現職	名称		開始年月
	日本教育クリエイト　非常勤講師		令和8年4月
資格	資格名	取得年月日	取得機関
	介護福祉士	平成13年5月9日	厚生労働省
略歴	名称	業務内容	期間
	介護施設	介護職	平成13年6月～平成14年3月
	介護施設	介護職	平成14年4月～平成17年3月
	介護施設	介護職	平成17年4月～平成19年9月

氏名	坂上　ひろみ		
現職	名称		開始年月
	日本教育クリエイト　非常勤講師		平成28年4月
資格	資格名	取得年月日	取得機関
	看護師	昭和60年4月24日	厚生労働省
略歴	名称	業務内容	期間
	医療機関	看護職	昭和60年4月～平成10年3月
	医療機関	看護職	平成11年9月～平成28年4月
氏名	洞庭　美由紀		
現職	名称		開始年月
	日本教育クリエイト　非常勤講師		平成29年10月
資格	資格名	取得年月日	取得機関
	看護師	昭和60年5月20日	厚生労働省
略歴	名称	業務内容	期間
	医療機関	看護職	昭和60年4月～昭和63年3月
	医療機関	看護職	昭和63年12月～平成29年3月
氏名	武田　早紀		
現職	名称		開始年月
	日本教育クリエイト　非常勤講師		令和8年4月
資格	資格名	取得年月日	取得機関
	看護師	平成25年4月5日	厚生労働省
略歴	名称	業務内容	期間
	医療機関	看護職	平成25年4月～平成27年3月
	医療機関	看護職	平成27年4月～平成28年3月
	医療機関	看護職	平成28年4月～令和2年3月
	医療機関	看護職	令和6年5月～令和6年7月

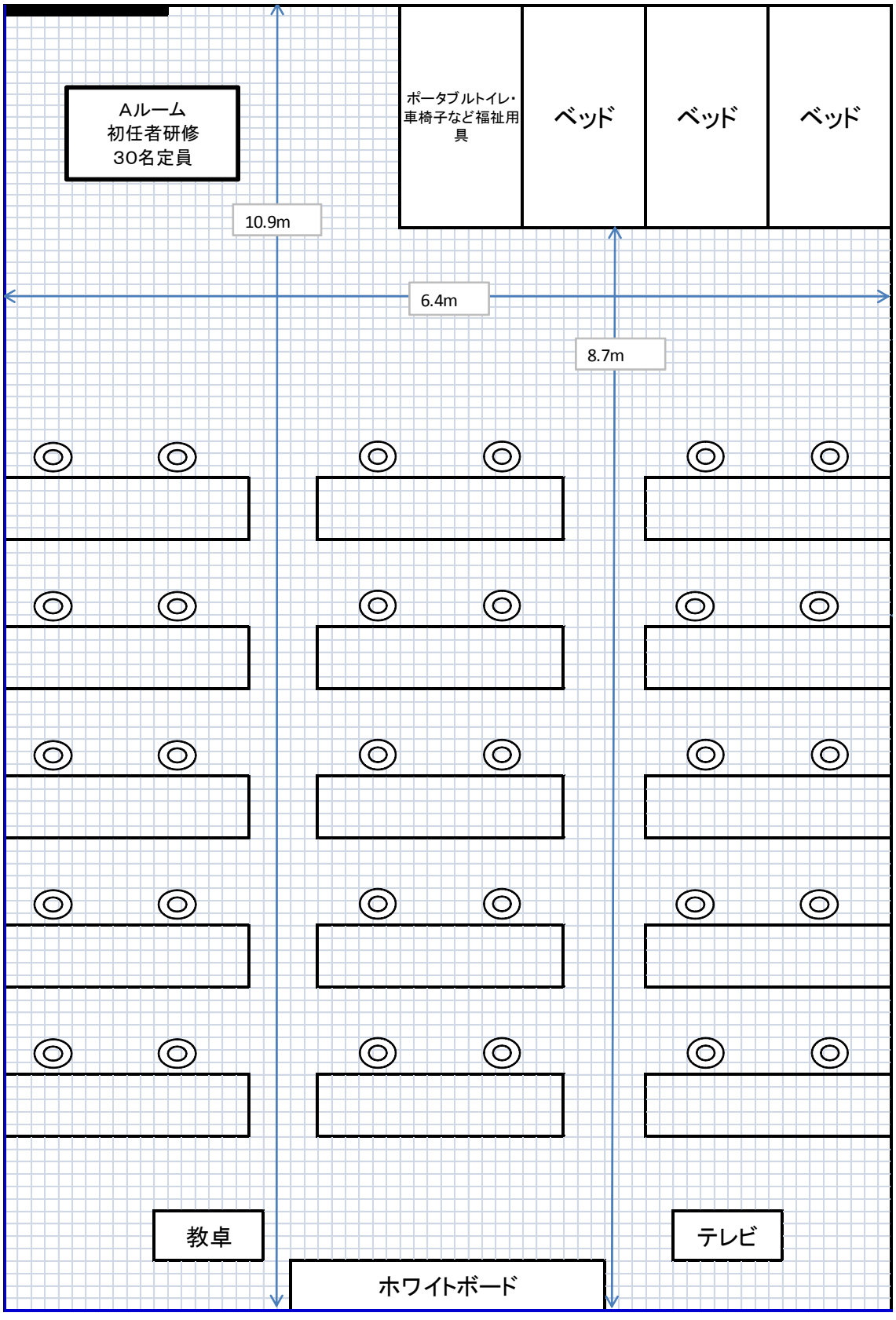
（別紙６）

研修実施会場状況表

名　　称	三幸福祉カレッジ　石川県庁前教室　Ａルーム	
所 在 地	石川県金沢市二ツ屋町８－１ アーバンユースフルビル２Ｆ	
面　　積	55.68 ㎡	
収容人員	30 名	
使用備品 一　　覧	福祉用具等の名称	数　量
	介護用ベッド	3
	車椅子	3
	ポータブルトイレ	3
	尿器	6
	便器	3
	ポット	4
	ドライヤー	4
	水温計	4
	バケツ（大・30Ｌ位）	6
	洗面器	6
	ヘアーブラシ	6
	ピッチャー	6
	口腔ケア用スポンジ	30
	口腔ケア排水用バケツ	6
	ディスポ	100
	オーバーテーブル	2
	軽量スプーン	2
	食事介助用食器一式	3
	紙コップ	100
	キッチンペーパー	2
	とろみ剤	30
	シャンプー	3
	スウェット上下	6
	前開きパジャマ上下	6
	浴衣	6
	テレビ	1
	ＤＶＤデッキ	1
	ＤＶＤ（職務の理解編）	1
	ＤＶＤ（介護技術編）	1

※会場の平面図を添付すること。

※講義、演習会場について、事業所の所在地以外の施設で行う場合は、別紙７を添付して下さい。



（別紙６）

研修実施会場状況表

名　　称	三幸福祉カレッジ　石川県庁前教室　Ｂルーム	
所 在 地	石川県金沢市二ツ屋町８－１ アーバンユースフルビル２Ｆ	
面　　積	35.40 ㎡	
収容人員	20 名	
使用備品 一　　覧	福祉用具等の名称	数　量
	介護用ベッド	2
	車椅子	3
	ポータブルトイレ	3
	尿器	6
	便器	3
	ポット	4
	ドライヤー	4
	水温計	4
	バケツ（大・30Ｌ位）	6
	洗面器	6
	ヘアーブラシ	6
	ピッチャー	6
	口腔ケア用スポンジ	30
	口腔ケア排水用バケツ	6
	ディスポ	100
	オーバーテーブル	2
	軽量スプーン	2
	食事介助用食器一式	3
	紙コップ	100
	キッチンペーパー	2
	とろみ剤	30
	シャンプー	3
	スウェット上下	6
	前開きパジャマ上下	6
	浴衣	6
	テレビ	1
	ＤＶＤデッキ	1
	ＤＶＤ（職務の理解編）	1
	ＤＶＤ（介護技術編）	1

※会場の平面図を添付すること。

※講義、演習会場について、事業所の所在地以外の施設で行う場合は、別紙７を添付して下さい。

